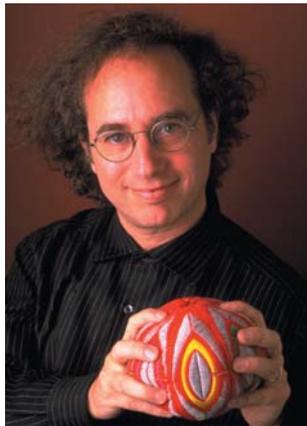


未来への視点

—MITメディアラボとMIT Okawaセンターの軌跡—

先月紹介したCAMPと並んでCSKグループとMITの共同プロジェクトとして進められている「トイシンフォニー」を紹介する。「トイシンフォニー」は、MITメディアラボのトッド・マッコバー教授の率いる「音楽とメディア」グループが主宰する「子供」と「音楽」に関する活動で、CSKグループがメインスポンサーとして研究助成している。



トッド・マッコバー教授

MITメディアラボの象徴的なプロジェクト

トイシンフォニーは、誰でも簡単に演奏できるようにすること、簡単に作曲できるようにすること、そして世界中の子供たちがネットで音楽活動に参加することで音楽自体を変えていくことを目的にしたプロジェクトで、①楽器開発、②ワークショップ、③コンサートの3ステップから構成されている。

①楽器開発、②ワークショップ、③コンサートの3ステップから構成されている。

* * *

①楽器開発

「ミュージック・トイ(音楽おもちゃ)」という子供向けのデジタル楽器とソフトウェアを開発している。これまでに「シェイパーズ」「ビートバグズ」の2種類の演奏楽器と、「ハイパースコア」と呼ばれる作曲ソフトウェアを作りだした。



ビートバグズ

シェイパーズは、柔軟性・伸縮性のある布でできたボール状の楽器で、握って変形させて演奏する。特別な訓練は不要だ。ビートバグズは手のひらサイズのネットワーク機能付きおもちゃで、叩いて作ったリズムを他のビートバグズに送ったり、そのリズムや音色を変えて音でコミュニケーションを取ったりする。プロの演奏家のための「ハイパー楽器」も併せて開発されていて、すでに「ハイパーバイオリン」という、一流バイオリニストの表現を広げるデジタル・バイオリンが開発されて話題になっている。

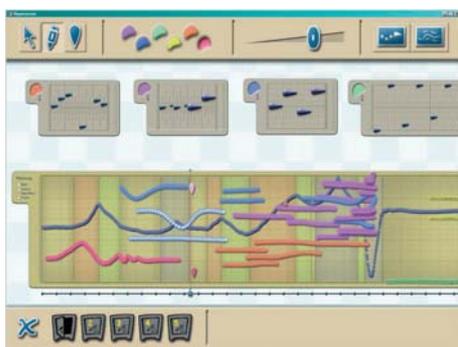
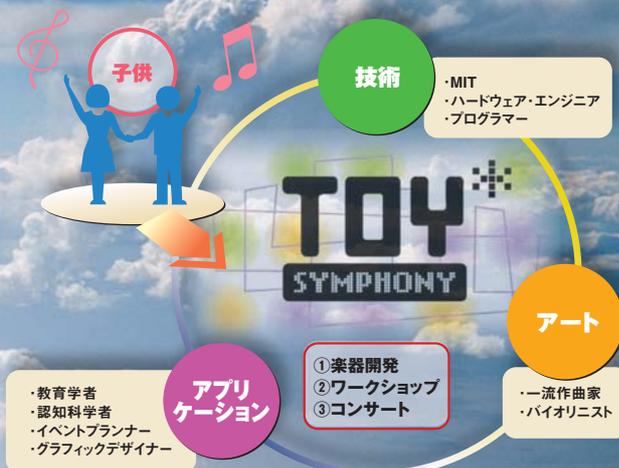
「ハイパースコア」という音楽創作ソフトは、子供が感じたままにパソコン画面上に「線」を描くだけで作曲することができる。特別な知識を持った専門家だけ



シェイパーズ



ハイパーバイオリン



ハイパースコア

2002年2月、ベルリンで、ドイツ交響楽団(ケント・ナガノ指揮)と地元の子供たちが共演、4月にはアイルランドのダブリンで、アイルランド国立交響楽団、ソリスト:ジョッシュ・ベル氏による公演が行われた。6月にはイギリスのグラスゴーにて、BBCスコティッシュ交響楽団によるコンサートも開かれ、2003年には日本公演も予定されている。

* * *

の創作活動である作曲を、誰もが絵描きをする感覚で作曲家になれてしまうというソフトだ。

②ワークショップ

2番目のステップでは、「ミュージック・トイ」を実際に子供たちに触れて遊んでもらうというワークショップを行う。音楽ワークショップの専門家や小学校の教員などがワークショップのリーダーとして参加し、子供たちは「ビートバグス」や「シェイパーズ」の演奏を楽しんだり、「ハイパースコア」で作曲したりする。このワークショップはCAMPでも行われる予定だ。

「ハイパースコア」に関してはウェブ・バージョンも開発が進み、インターネットを通して世界中の子供たちが参加して作曲を楽しみ、その楽曲を共有する環境が整いつつある。

③コンサート

数十名の子供たちが「ミュージック・トイ」を持ち、プロのフルオーケストラと一緒にコンサートを行う。演奏曲には、作曲家トッド・マクコーバー教授らの作品だけでなく、「ハイパースコア」を使った子供たちの作品も登場する。

実はすでにその世界ツアーがスタートしている。

「トイシンフォニー」の開発過程では、MITをはじめとするハードウェア・エンジニア、プログラマー、そして教育学者、認知科学者、イベントプランナー、グラフィックデザイナーたちが加わり、さらに一流の作曲家やバイオリニストが同じテーブルで議論したりする。時には子供たちも加わり、いっそうの使いやすさをフィードバックしていく。

最先端テクノロジーと音楽、そして子供の融合。技術とアートとアプリケーションという三本柱を横断するMITメディアラボの象徴的なプロジェクトだ。イギリスのBBCも積極的に協力していて、日米欧をまたぐ国際プロジェクトとなっている。

● Toy Symphony

<http://www.toysymphony.net>

